

申2号「『2025年3月ダイヤ改正について』等に関する 検証申し入れ」の団体交渉を行いました！⑤

5. 列車内において凶悪事件が発生していることから、全列車に警備員による警乗を実施すること。
→回答：現時点では全列車に警備員による警乗を実施する考えはない。なお、引き続き状況は把握していく考えである。

《組合》警備員が警乗する列車や区間はどのように決めているのか？

《会社》お客さまのご利用が多い列車や区間などを考慮して、CSP側と打ち合わせて決めている。CSP側の要員体制との兼ね合いもある。

《組合》今後も警備員による警乗は続けていくのか？

《会社》基本的に1年間の契約となっており、現行の契約では来年の3月31日までである。今後についていま明言はできないが、引き続き警乗をしていただくのが望ましいという考えである。

《組合》昨今の情勢もあり、車内巡回の重要性は増している。今夏にアイドルグループの特別放送をタブレットから車内に流すことがあったが、車内巡回より特別放送が優先との指導があった。今後はそのような場合でもしっかり巡回できるよう、自動放送に組みこむことはできないのか？

《会社》今回の場合は期間限定ということもあり、タブレットから流すという事になった。自動放送システムに組み込むには費用や時間の課題がある。事前に検証をおこない、通常時であれば巡回などの業務に支障しないと判断して今回の取扱いとなった。もし急病人などの突発的事象があれば、特別放送よりそちらの対応を優先していただいて問題ない。混雑などで未巡回となる部分があっても、可能な限り特別放送はしていただくように現場には伝えた。

《組合》巡回できず、車内の状況把握ができないというのは車掌として不安になる。警備員の方の巡回があれば安心できる面もある。また、荷物整理など車掌の手が回らない部分で助けて頂いている部分もある。社員、お客さまの安全、安心のためにも全区間、全列車の警乗を求めたい。

《会社》主張は受け止める。引き続き警備員の配置などより良い状況を模索していきたい。

警乗の必要性、重要性については会社と認識を一致させることができました。昨今の情勢等も踏まえ、車内巡回の重要性、警乗の継続や拡大について議論しました。

6. 仙台新幹線運輸区のC2125行路69B混雑時に1号車に戻れなくなるリスクがある為、仙台駅乗り継ぎではなく、盛岡駅までの通し乗務とすること。

→回答：乗務員の行路については、乗務交番作成規程に基づき、列車ダイヤの設定や効率的な運用等を総合的に勘案して作成しているところである。

《組合》69Bは盛岡行きの自由席がある最終列車ということで、これまでも混雑による列車遅延などあった。お客さま対応の内容も多岐にわたるという特性のある列車である。白石蔵王発車後、僅かな時間の中で場合によってはお客さまへの応対もしつつ9号車乗務員室から1号車運転室に戻らなくてはならない。このような状況を解消するため盛岡までの通し乗務を求めたい。

(⑥につづく)